

骨軟部腫瘍治療後の予後機能評価

1. 研究の対象

骨軟部腫瘍に対し手術、放射線治療もしくは化学療法を受け、大阪国際がんセンターもしくは共同研究機関で経過観察を行っている患者

2. 研究目的・方法

骨軟部腫瘍は運動器に発生する腫瘍であり、手術などの治療方法によって、予後だけでなく患肢機能も大きく左右されます。そこで、今回多施設の骨軟部腫瘍治療後の患者を対象に、治療後の予後と患肢機能を評価し、予後ならびに患肢機能に影響を与える因子を検討することを本研究の目的とします。

転移性骨腫瘍を含む骨軟部腫瘍に対し手術や放射線治療もしくは化学療法を行い、大阪国際がんセンターならびに共同研究参加施設で経過観察を行っているもしくは行っていた患者を対象とします。7歳未満の症例は機能評価が困難であるため患肢機能評価の対象から除外します。骨軟部腫瘍治療後の定期的な通院時に、治療後生存期間ならびに一般的に日常診療で用いられている機能評価の結果を調査し匿名化の上で解析を行います。

研究期間は実施許可後から2022年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、ADL評価、患肢機能評価 等

個人を識別できる情報（生年月日、施設内IDなど）は用いません。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

吉川秀樹・整形外科教授・大阪大学大学院医学系研究科

中 紀文・整形外科医師・大阪国際がんセンター

角永茂樹・整形外科医師・大阪医療センター

倉都滋之・整形外科医師・ベルランド総合病院

青木康彰・整形外科医師・姫路赤十字病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 整形外科 中 紀文

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者： 中 紀文

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学（整形外科） 吉川 秀樹

以上